

特集「山の一日先生」の感想

山の一日先生の記事が興味深かったです。話を聞くだけでなく、後日実際に森へ行って体験することで実感することがあると思うので、とてもいいなと思いました。保育園で働いていますが、山の一日先生派遣事業については知らなかったのので、来ていただいて話を聞くだけでも子どもたちにとって、とても良い経験になるのではないかと思います。検討してみたいと思います。(高知市・42歳)

山の一日先生のご活躍は素晴らしいと思います。自然は無くてはならないもの、大切なもの、怖いもの。子ども達に伝えたいことを、山の一日先生なら楽しく臨場感たっぷりで伝えられる。素敵です。募金のことや、税金の使い道などとあわせ、学ぶことは大切だと思いました。小学2年生の娘が、興味津々でした。イラストは苦手なので、木を使った作品などの絵なら描けそうです。(香南市・50歳)

土佐山田の森林センターに小さいころから遊びに行っています。工作もたまにやっています。(香美市・9歳)

山の一日先生のフィールドワークや木工クラフトを興味深く読みました。近くに、こうした行事があるなら、孫を連れて行ってみたいと思いました。(いの町・68歳)

勤めている幼稚園で甫喜ヶ峰森林公園を利用させてもらったことがあります。子ども達の生き活きとした表情を忘れられません。

また、行きたいです。木工クラフトのワークショップにも興味があります。(香美市・64歳)

いつも「もりりん」読ませていただいています。森林のことが色々学べて、楽しい一冊だと思います。特集の「山の一日先生」は、とても良い取り組みだと思いました。子ども達にたくさんのことを教えてあげてほしいです。これにも森林環境税が使われていることを知り、あらためて重要性を感じました。(佐川町・53歳)

野市保育所などの、他の保育所の自然活動を見ることができ、保育士として参考になりました。(高知市・25歳)

甫喜ヶ峰森林公園など、普段利用しているキャンプ場は高知県が運営していて、公園活動などもしてくださっていることを知りました。(高知市・28歳)

P3の「なぜ日本には人工林が多いの？」のQ&Aが大変勉強になりました。身近な木ですが、まだまだ知らないことが多いと感じます。高知の林業について、もっと学びたいと思いました。以前のmamoriについていたかるたが商品化されたらいいなと思います。(土佐市・33歳)

高知県は自然が豊富であり、保育園から山までのフィールドワークなどを行い、自然保護の教育が充実していると感じました。自分は東京出身なので自然が高知県ほどではありませんが、遠足で山登りをした時のワクワクは今でも覚えています。(東京都・34歳)

「緑の募金って何？」の感想

時々見かける緑の募金箱についても詳しく知ることができました。今後は少しずつですが、募金してみたいと思います。(高知市・79歳)

高知県は森林が多く、身近に触れ合う機会も多いので、森林環境税や見たことはあるけど詳しくは知らなかった森の募金のことを詳しく書いていて、ためになった。(高知市・15歳)

緑の募金箱の存在を知らなかった。今後、見つけた時には募金したいなと思った。(高知市・44歳)

募金箱がすごく大切に、山をキレイにしてくれることが分かりました。(高知市・8歳)

募金の額が、すごいですね。私も昨年、何度か入れました。私は父が林業のため、小さい頃から山や森と触れる機会が他者よりあったと思います。なので、他の人の関心も強いのだと、雑誌を通じて感じることができ、なんだか嬉しいです。(高知市・42歳)

先日、道の駅で募金箱を見つけました。少しですが入れてきました。微力ですが…。でもその微力が集まると大きな力になるので。(いの町・52歳)

娘が幼稚園から「もりりん」をもらってきて、初めて「もりりん」のことを知りました。読んでみると写真なども多く、明るくレイアウトされており、あっという間に全て読め

ました。また、「緑の募金」がマンガになっていて、5才の娘も興味を示して一緒に読みました。シールもいただいて、キャラクターが可愛いと喜んでいました。(南国市・40歳)

もりりんの存在自体は知っていましたが、初めて読みました。緑の募金箱、見かけたことはありましたが何のためか理解していませんでした。誌面を読んで次に見かけたら募金したいと思いました。(四万十市・34歳)

緑の募金箱を見つけたら一緒に寄付しようねと子どもと話しました。(宿毛市・28歳)

緑の募金は良いと思います。(宿毛市・53歳)

ぼくも緑の募金箱を見つけたら募金したい。(南国市・7歳)

緑の募金箱の漫画を小学生の子どもが読んで、苗木がたくさん募金で植えられるというのを知り、今度、募金箱を見つけて募金をしようということになりました。(佐川町・46歳)

今月号は特に表紙が良かったです。まだ緑の募金箱にお金を入れたことがないのでどこかで見つけたら募金したいなと思いました。高知県民として森林の未来を守るために出来ることをやっていきたいともりりんを読んで思いました。(高知市・17歳)

「木の家が持つ魅力をチェック。」の感想

木が体に合うと思います。コンクリートは体を冷やします。健康、長寿のためにも日本人は木の建物に住むといいと思います。(高知市・61歳)

木の家はぬくもりを感じます。「あすなろ」の店の窓側からの眺めは素晴らしいし、食事も美味しく、ホッと一息つける空間です。(南国市・62歳)

県産材を使用すると支援してもらえる補助金がある事はとても良いことだと思います。森や山にとっても、事業者、利用者にとってもメリットが沢山あると思います。お得な情報を、またお願いします。(南国市・53歳)

県の「こうちの住まいづくり助成事業」はとてもいいですね。この冊子を見るまで、恥ずかしいですが全く知りませんでした。いろいろな場で発信してほしいです。若い人にぜひ知ってほしいです。(須崎市・62歳)

記事の中にあつた木の住まいづくり助成事業に興味がありました。(高知市・29歳)

あすなろというお店に行ってみたくな思つた。(宿毛市・12歳)

県外から高知へ今年度Uターンし、雑誌を手に入れました。県内産の木で家を建てたいと、子どもと夢をもっています。特集等を見て、県外から来たので、森林の有難さをより感じました。子どもと一緒に遊べる場など、

ぜひ特集してください。(四万十市・49歳)

高知県の観光魅力ランキングが低すぎる。もっとPRを。木の施設のPRを。(香川県・27歳)

You tube チャンネル「森林環境情報誌もりりん」を見て、県内の環境への取り組みなどの情報を得たいと思いました。木材の魅力を感じられる特集(仁淀の木とお茶、人が集まる憩いの空間)を見て、茶農家の店「あすなろ」に行ってみたくな思つた。(高知市・30歳)

高知県は84%が森林だということを知って驚きました。県産木材を使った建物を、この冊子でもっともっと紹介してほしいです。身近に感じられると思つた。(高知市・12歳)

木の温もりが感じられる本誌だと思います。今回の茶農家の店 あすなろさん。ぜひ行ってみたくな思つた空間です。(土佐町・33歳)

あすなろの特集が満を持して、という感じでファンとしては感無量でした。本当に素敵なお店なので。(高知市・46歳)

もりりんのような森林に関する情報誌を読むとなぜか心が癒されるような気がします。自宅近くにある木と人出会い館にも何度か足を運んだことがありますが、高知県が県内産の木材使用を推進し力を入れていることがよくわかります。高知県の木材を使用している建物と聞くと深呼吸してしまします(^-^) (南国市・46歳)

「第1回キャラクター似顔絵コンテスト」

似顔絵コンテストの絵が上手だった。(高知市・11歳)

今回の表紙がとても素敵で目を惹きます。似顔絵コンテストを見ても、認知度がUPしているのがよく分かりました。(香南市・55歳)

今回の表紙は、ひと言でいうとにぎやかでカラフル。パッと目につくインパクトがありました。高知県からのお知らせも興味があります。(四万十町・67歳)

P10～11の似顔絵コンテストは、それぞれ個性が出ていて良かったです。(安芸市・32歳)

第1回キャラクター似顔絵コンテスト受賞作品発表は、どの絵も可愛くてカラフルで、見ていて飽きないですね。表紙も今までになく、足を止めて見入ってしまいました。(四万十町・84歳)

知られているようで知られていないと感じていたこの誌ですが、コンテストにたくさんのお応募があったようで、自分が思っているより読者が多いのだと嬉しく思いました。小さな時から木や山、森に興味を持ってもらえるきっかけ作りは大切なことですね。(高知市・44歳)

もりりん、かわいい名前の響きでいいですね。子どもが次の似顔絵コンテスト、ぜひ応募したいと意気込んでいます。(高知市・45

歳)

いつも楽しく拝読させていただいています。子ども2人が似顔絵コンテストに応募していました。受賞はできなかったけれど、表紙の一部にチラッと載っていてうれしく思いました。同じ小学校の子どもさんが受賞されていたので良かったなと思いました。うちの小学校は学校林の取り組みで、以前「もりりん」に紹介されていました。これからは学校や保護者、地域の皆さんの手で守っていきたいと思います。山は私も生まれた時からずっと側にあり、子どもの頃からの遊び場でした。今も自分の子どもたちの豊かな遊び場であることに変わりなく、休みの日は近くの山に登ってみたり、アケビの蔓をとってきてカゴを編んだり、リースを作ったりと、山の恵みに毎日感謝です。(四万十町・41歳)

銀行でみかけて、似顔絵コンテストの子どもたちの絵が可愛くて手にとってみました。今まで『もりりん』のことも知らなかった。『森林環境税の使いみち』など正直初めて知った。『緑の募金』も今まで見たことあるぐらいだったのですが、気になるようになった。(土佐市・34歳)

似顔絵コンテストを用いた表紙がとても目を惹き、コロナ禍ですがこの表紙を見て元気になりました。(高知市・24歳)

森林環境税について

僕はこの紙を見たらお母さんが「森をきれいにするために毎年2,000円払っているんだよ」と言っていた。僕は知らなかったのですが、初めて分かりました。僕は森が大好きです。
(高知市・7歳)

森林環境税の使われ方を今まで知らなかったけれど、最後のページのグラフに見やすく理解しやすかった。(高知市・26歳)

山林のもっている意義について関心をもっていて危惧もしています。森林環境税の使われ方については、まだまだ県民に知られていないように思います。さらなるアピールを願います。(日高村・58歳)

森林環境税があることを初めて知りました。高知には森林が多く、父はシカの駆除をしており、夫は木の加工に携わっているので、身近な話題として読ませていただいています。一市民として、1番目につくのが森林の整備です。高知の森林の多さに比べて、意外とお金を使っていないなと思いました。もう少し森林の整備に予算がつけば良いなと思います。(高知市・38歳)

森林環境税のことはよく知っていました。主人が山師なので、高知には山が多いことや、まだまだ手を付けていない山が多いことなど、3人の息子達も、いつも聞いているので、大きくなったら山師になって高知を元気にしたいそうです。(四万十市・34歳)

森林環境税は増額してもOK。(高知市・38

歳)

木製品が好きです。84%の森林を守るために税金をとというのは、高知ならではのユニークな発想だと思います。税金と聞くとシンドイなあと思うけど、この税は気持ちよく納められます。(土佐清水市・62歳)

森林環境税があることを初めて知りました。
(高知市・11歳)

森を守ることが町や海を守ることと直結していると知ってから、この為の税なら払えると強く思いました。全国トップでこの税を導入した時は「やるな、高知」と思ったことでした。高知で84%もある森を捨てたら何も残りません。いつまでもいつまでも、森を守り、海を守りたいですね。(高知市・61歳)

コロナ禍の中で、最近、自然の力をとても感じます。森林環境税があることを初めて知りました。とても勉強になりました。(高知市・73歳)

今まで森林環境税について学んだことがなく、どういったことに使われているのか自分がどのような形で納税しているのか知りませんでした。本誌を読んで少し気になり自分で調べてみました。納税者としてもっと知識を得ていきたいと感じました。職場の回覧で情報誌が回ってきてはあまり読む機会はありませんでしたが、本誌を読んでおもしろいと感じたので読んでいきたいです。(高知市・23歳)

「もりりん」について

一度、訪れてみたい場所と思うような写真や内容がとても素敵です。子ども連れでも安心なような場所を紹介してくれるのが嬉しいです。(中土佐町・45歳)

学校で習ったこともできて、復習感覚でみていましたが、知らないことも知れてためになった。(高知市・17歳)

自然の事やイベントの様子などがあって分かりやすいです。行ってみたいとか、やってみたいと感じます。(高知市・42歳)

高知県は山と海の県であり、今後も観光、産業等で活用を図っていかねばならない。その上で、資源の管理や有効活用のためには、各種対策を行っていく必要がある。貴誌等により、今後も実施政策の広報を行い、県民の理解を得ることが非常に重要であると考えます。(南国市・39歳)

近頃は家にこもりがちで、森や山に行くこともないし、考えることもなかったのですが、もりりんを読んで、子ども達と森に出かけたくなりました。(高知市・42歳)

学校でもあまり教えてもらうことのない森林のことを、色々学ぶことができるので、毎回親子で読ませてもらっています。自然と触れ合う機会が少なくなった現代の子ども達に、もっと情報を知ってほしいと思います。(香南市・48歳)

Q&Aなどが沢山あって、読みやすかった

し、写真やイラストを使っていて、飽きずに読めました。本誌を通して森林の良さをもっと知れたのでよかったです。(高知市・13歳)

小学校3年生でも分かるように説明があるといいです。(高知市・9歳)

せっかく学校で配布しているのに、子ども達には読みづらいのではないのでしょうか。我が家の子ども達も、大人が読むものだとして、他の手紙と同様に、自分は見ることなく渡してきます。もったいない気がします。(高知市・46歳)

私は小学校1年生ですが、森林についてもっと勉強をしたいと思いました。(高知市・7歳)

いつも子ども達と楽しく見えています。森へ遊びに行くのも好きなので、環境保護について知ってもらいたくて、絵本のように読み聞かせています。(南国市・42歳)

山の仕事をしています。誰にでも分かるように書いているこの雑誌が好きです。いつも楽しみにしています。(須崎市・66歳)

いつも楽しみにしています。(高知市・4歳)

工石山や甫喜ヶ峰によく登りますが、台風等で荒れている山を見ると、早くもっと綺麗にすればいいのにと感じていましたが、お金も人もいるから大変なのですね。自分もできることをしないといけないと思いました。小・中・高の子ども達に森林の大切さ

を理解してもらえるといいですね。(高知市・61歳)

ここ何年かで毎年のように、日本国内のどこかで台風やゲリラ豪雨などで大きな被害が起きていますよね。山の多い高知県ですが、手入れが行き届かないと山も元気がなくなるのだとよく分かる内容でした。山のこと、木のこと、何もわかっていないので、大変勉強になりました。(須崎市・41歳)

森林の大切さをわかりやすく説明して下さって、高知の山、森林を守るために自分たちができることを孫達と確認することができました。とても参考になる冊子でした。(いの町・66歳)

実家が山の中にあり、小さいころから木に親しんでいる息子は、木を切ることが大好きです。将来、林業の道に進みたいと言っています。そういった環境にないお子さんもこの雑誌から興味を持っていてくれることを期待しております。(四万十市・53歳)

森を守るために人工的に木を植えてすごいなあと感心しました。(高知市・13歳)

冊子が小さめになって、バッグに入れて持ち帰りやすくなりました。もりりんのキャラクターも可愛くて、職場の同僚にも勧められています。子どもの勉強にもなっているようです。(高知市・56歳)

デザインがおしゃれで、読みやすく、構成も楽しくて、真面目な広報誌は目を通さないこともあります。もりりんは読みたくな

る広報誌だと思います。(高知市・45歳)

続けてほしい。(中土佐町・11歳)

周りは山に囲まれているけど、山のことはあまり知らないの、この本を見て勉強になります。(土佐町・10歳)

子ども達に少しでも森林と触れ合う機会を作ってあげたいと思うようになった。(高知市・29歳)

森林率が全国一の高知県では、子どもたちに森林について親しみ理解し、主体的に守ろうとするようになってもらうために、こういう広報誌は必要だと思います。森林に関わる教育活動をしている学校を順番に紹介していくのも、身近に感じる良い方法かなと思います。(土佐町・59歳)

森林面積の広い高知県だが、有効活用できていない。もっと、有効活用でき、高知県民として、知ることが必要。子どもから大人まで、県民全員で森林へ触れあえる機会がなくてはならないと感じた。(土佐清水市・40歳)

毎号心待ちにしています。(香南市・12歳)

高知新聞に、日高村の間伐ボランティアと、薪の販売の記事が載っていたが、大変素晴らしい取り組みだと感じた。あのような、森林と人の両方にメリットのある取り組みを期待したい。(高知市・38歳)

意見・要望等

木を使った家の作り方の情報がほしい。(いの町・58歳)

木をつかったリフォーム住宅の紹介をするコーナーがあると嬉しいです。大きなリフォームから小さなリフォームまで、興味があるので連載していただけるといいなあと思っています。(高知市・59歳)

税の使い道の2番目にシカ被害対策とあったので、少し驚きました。ひきつづき、似顔絵コンテストを開催してください。(高知市・13歳)

かわいいキャラクターに目をひかれる。本誌は、森林環境の大切さを学べ、子どもとともに見て為になっている。森林環境税、本誌や森林イベントなどほかに何に使われているんですか？(高知市・46歳)

山間地域に住んでいるので、身近であるはずの森林です。でも、森林が近くにあることが当たり前過ぎて、意識せずに過ごしがちです。森林の役割や楽しさ、四季それぞれの風景など、知らないことが沢山だな、もったいないことだなと"もりりん"を読んで感じ、毎回、勉強させてもらっています。森林環境税も徴収があるから自動的に払っているけど、何の為のものなのか、何に使っているのか、よく知らなかったので、内訳を見て、納得しました。個々の活動(例えば木材利用だと具体的な利用法など)を更に詳しく知りたいと思いました。(梶原町・35歳)

森林環境税を何にどのくらい使っているのか、詳しく内容を知りたい。(南国市・59歳)

高知県以外の件にも森林環境税的な税金を収納している県はありますか。あるとしたら、どのような使い方をしているのでしょうか。(高知市・67歳)

孫が学校で配布された本誌を目にしました。一般の者でも、どこかで読む機会はありますか。本や山や自然に興味があるものであれば読みたいと思う内容でした。(高知市・67歳)

もっと知名度を上げてください。サービスエリアにも配布してください。(香川県・64歳)

森へ行く手段、交通の紹介をお願いします。(南国市・73歳)

上の子どもが小さい時はよく、きのこのイベントやものづくりのイベントに親子で参加していました。そんなことを懐かしがりながらこの号を拝見させてもらいました。中高生や大人も楽しめるイベントがあれば参加してみたいです。(高知市・41歳)

コロナで屋内イベントはなかなか無いと思いますが、屋外イベント情報などがあれば掲載してほしいです。イベントでなくても子どもと行ける登山コースなど紹介してほしいです。(高知市・43歳)

毎回、子どもが持って帰ってくるのを楽し

みにしています。森を守るために家族、個人でもできることを教えてほしい。(土佐清水市・53歳)

今回森林環境税がどのように使われているのか?詳しく知ることができました。学校や甫喜ヶ峰など色々な場所で子ども達が森林について学んでいる事も素敵な活動だと思います。ボランティアで何か素人でも参加もしくはお手伝いできる事はありますか?(高知市・56歳)

素人から始める森の育て方(森の整備の仕方)等の講習会に参加したい。(高知市・45歳)

森林の仕事についている人も少なく、森林について学ぶ機会が少なくなっている。知る機会を持ちたい(北川村・42歳)

森林の整備はどちらの方がされているのでしょうか。どこの山ですか。高知県の山全体ですか。公益的機能を維持するとはどういうことですか。知らないことが多いです。間伐等の手入れが出来ていないため、土砂災害が起こると聞いたことがあります。本当ですか。知りたいことが沢山あります。(香南市・48歳)